

「COVID-19 とオリンピック・パラリンピック・ムーブメントに関する調査」報告

JOA では 2021 年 6 月に次の要領にて、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントのあり方に関する調査を行いました。どのような意見が出されたのか、その内容を報告します。

I 調査の目的と方法

- 目的： COVID-19 後のオリンピック・ムーブメント、パラリンピック・ムーブメント、スポーツの意味や大会のあり方について意見を収集
- 対象：JOA 会員、IOA、NOA、CIPC (国際ピエール・ド・クーベルタン委員会)、CNPC (各国ピエール・ド・クーベルタン委員会)、OSC (オリンピック研究センター)、研究者
- 期間：2021 年 6 月 11 日～同年 7 月 2 日
- 回答方法：JOA ホームページに質問項目を日本語および英語で掲載し、そこから各自回答を記述していただく（無記名も可とする）
- 調査者：JOA 世界の声ワーキンググループ（責任者：真田久）

II. 質問内容

1. COVID-19 下でのスポーツのあり方を、貴国の社会ではどのように位置づけ、対応してきたのでしょうか？
2. COVID-19 の下に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会の意義や課題は、どのようなものだと思いますか？
3. COVID-19 により、スポーツの意味や価値は変わるべきだと思いますか？もし変わるとしたら、スポーツの重要性は何だと思いますか？
4. COVID-19 により、オリンピック・ムーブメントは、変わるべきだと思いますか？もし変わるとしたら、何を变えるべきでしょうか？
5. COVID-19 により、パラリンピック・ムーブメントは、変わるべきだと思いますか？もし変わるとしたら、何を变えるべきでしょうか？
6. 以上の質問項目以外（例えば東京大会への期待など）で、ご意見等ありましたら、自由にお書きください。

III 回答数

日本 (JOA) 14

海外 (21 カ国・地域) 35

ドイツ、ギリシャ、イギリス、フランス、スロベニア、アルバニア、スペイン、オランダ、韓国、インド、台湾、マレーシア、アメリカ、カナダ、ブラジル、メキシコ、チリ、オーストラリア、レバノン、ケニア、南アフリカ

IV 回答のまとめ（日本と海外）

次のような意見が示された。

質問1. COVID-19 下でのスポーツの位置づけと対応について

（日本）

- どのように実施したら安全なのかの検証に基づいて対応すべき
- 自粛したことで、スポーツ活動の意義は人間にとって大きくなった
- スポーツは不要不急のものという考えが広がり、子供たちや社会のスポーツに対する憧れが低下した
- 「文化としてのスポーツ」の理解が深まってほしい
- 接触を伴うスポーツは今後も形式が変化するだろう
- アスリートファーストの視線からでしか考えられていない

（海外）

- ロックダウンにより若者や草の根レベルのスポーツができなかったが、その後徐々に回復している
- スポーツは、身体的および精神的健康の両方を高める活動としてより重要になった
- オンラインコンテンツやデジタル化が進んだ
- プロスポーツは早く回復したが、屋内スポーツや格闘技が難しい
- あらゆるスポーツの重要性は衰えない、観客受け入れも重視
- 社会的亀裂が暴露し、グループ間の不平等が拡大している。スポーツは、グループをまとめる理想的な方法だ

質問2. COVID-19 の下に開催される東京オリンピック・パラリンピック

競技大会の意義や課題

（日本）

- オリンピズムに基づき、これを広め、良いレガシーを残す
- 2013 年から開催に至るまでの歩みやアスリートの努力を賞賛すべき大会
- オリパラの実施を次回につないでいく
- 徹底した感染防止対策を講じること
- 組織委員会、都、国の意思決定にいたる議論の透明性が低い
- 国民の大多数はオリンピックに嫌悪感を抱いた。オリンピック最大の危機を克服することが課題
- コロナ禍で、選手の公平性がない、交流がないなどで開催の意義はない

（海外）

- 国際的スポーツ選手に挑戦する機会を与えることは重要
- レジリエンスの問題で、大会の開催は希望の象徴

- 国造り、娯楽、オリンピックの価値、平和的なイベントは、人類がパンデミックに必要なもの
- COVID-19の蔓延に影響を与えることなく実施できれば、安全対策を講じることで、スポーツできることが証明される
- パンデミックに耐え、人類の回復力を祝うための希望の標識
- 国際的な理解と友情を育む正常な感覚を促進
- トップレベルのスポーツの価値観とスポーツ界の若者の連帯
- 徹底した感染対策が必要
- 大会前の派遣団と観客の検査、大会中の安全対策に従うための観客の管理、そして大会後にCOVID-19が蔓延した場合の治療の責任
- 世界の多くが人命を助けようと戦っている時に開催すべきでない
- このような状況で開催されるべき理由が説明されていない
- 人間の生活よりもお金と借金が優先されている
- 大会はIOCの傲慢さの最悪例になり、開催に関心を持つ都市が減る
- 感染が広がる

質問3.スポーツの意味や価値は変わるべきか

(日本)

- 不変であり、重要なのは「オリンピズム」そのもの
- コロナ禍で人々がスポーツを求めた行為が、スポーツの価値を示している。健康と絆、地域の再構築
- 免疫力、抵抗力などの体力をつけるための市民スポーツの発展
- スポーツをするほど紳士だという概念や教育システムが必要
- アマチュアスポーツが大切にしていた価値を振り返るべき

(海外)

- スポーツの価値は不変的
- 規制によりメンタル面含めてスポーツの重要性が認識され、パンデミック後の社会生活の基礎になる
- スポーツは人々と文化をつなぐ方法として、国際的な政治的緊張を緩和し、パンデミックと闘う方法として重要
- オリンピック選手であることは、より深いレベルの人間性を示すために適応されるべき
- スポーツは活発な生活とより良い生活の質を維持する
- インクルーシブとダイバーシティの世界的な重要性がより重要になった
- IOC、民間企業、およびNFsはパンデミックによる死よりも、お金が重要であることを世界に示している

質問4. オリンピック・ムーブメントは変わるべきか

(日本)

- 80年代からの商業化からの脱皮がムーブメントに求められる
- 2030年の札幌招致の大義を明確にする必要がある
- 経済的、政治的な支配や利権に振り回されず、世界平和とは？国際交流とは？休戦の意味や影響とは？などから取り組むべき
- 複数国共同開催、または開催地を固定しコストを下げるべき
- 大会開催を前提とした対応により、国民は「オリンピック・アレルギー」になった。不信感を取り除く作業から取り組むべき
- 予選に出場できない国・地域を無視して競技会を開催することは、オリンピック・ムーブメントに反する

(海外)

- 変える必要はない
- 若いアスリートとアマチュアアスリートの願望、参加を重視
- オンラインやヴァーチャル、それにeスポーツが流行る
- 人種差別、ジェンダーの不平等、またはその他の形態の差別との闘いなど、スポーツ以外の事柄に対してより責任を持つ
- IOCのガバナンス体制を縮小し、根本的に改革する
- 安全性の観点から、2024大会の計画と組織を変更する
- 教育や文化プログラムを強化し、すべての人に及ぶようにする
- ワクチン対策の途上国への共有、分配

質問5. パラリンピック・ムーブメントは変わるべきか

(日本)

- 疾病との関連もあり、今まで以上に医療との共同で、安全に行うようにすべき
- オリからパラへ価値観がシフトしていく時代。オリンピックムーブメントにパラリンピックの意義や要素を融合すべき
- 変えるべきでない。変わらない形で開催できる条件が整うまでは大会を開催すべきではない
- 新型コロナに苦しんでいる状況下だからこそ、世界で横一列に並び、協力・協働し、一緒に戦っていく必要がある
- 商業主義と決別し、純粋にスポーツを愛好する人の大会に戻す

(海外)

- エリートだけでなく、みんなのパラリンピックにすべき
- パラリンピックとオリンピックを統合すべき（米国やノルウェーなどのように）
- 包摂と機会均等の強力なモデルとして、また連帯のモデルとして機能するので、可能な限り拡大され、放映されるべき
- どれほど才能があるかではなく、彼らが何を表しているかを祝うべきで、思いやりや違いを祝福する価値観を認識する必要がある
- 障害者のスポーツの機会が認識されていないため、コミュニティの草の根レベルにまで普及することが重要

質問6. その他の意見

(日本)

- ホストタウンは、その国とオンラインで、交流の機会を設けてほしい。コロナという人類に平等に降りかかっている禍の下で、それぞれの思いを交換し合うことが重要
- アスリート・ファーストではなく、一般市民への感染の危険性をも考慮してフェアに開催プロセスを決めてほしい
- 後世に「安全なおもてなしが実現できた大会」と語り継がれるようになってほしい
- 組織委員会や関係者の広報対応がお粗末。グローバルな広報戦略、コーポレートコミュニケーションの強化は今後も必要
- 「安全第一」で、社会的、経済的効果に左右されずに開催されなければならない

(海外)

- 東京がこのような状況に対処する最良の行動を示し、私たち全員が将来の進め方を学ぶ機会となることを強く望む
- ポジティブで安全でエキサイティングなオリパラは、世界中の何百万人もの精神を高揚させ、記憶されることだろう
- がんばれ日本！ 私たちは皆、進歩と発展を注視しており、歴史上成功した大会になることを願う
- 世界レベルでの恐怖に対処し、希望の物語を広め、競争対協力/連帯の重要性を再考することになるだろう
- 日本社会が大会の開催に多くの躊躇を示したことを残念に思う
- 今大会はスポーツでこれまでに起こった最大の災害であり、誤りである可能性がある
- 大会は参加者数が少なく、日本文化が表現されない可能性がある